

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都府警察機動隊寄宿舎建築工事	階数	地上4F
建設地	京都市伏見区深草ススキ町24-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域, 準防火地域	平均居住人員	60 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2019年2月20日
敷地面積	2,504.80 m ²	作成者	株式会社ニュージェック 安川雅巳
建築面積	673.36 m ²	確認日	2019年2月20日
延床面積	2,515.73 m ²	確認者	株式会社ニュージェック 吉村晃治



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.6

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	色彩の配慮により地域の景観を保つように努め、太陽光発電を採用することでエネルギー量の削減にも配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	内装建材にF☆☆☆☆規格品を全面的に採用し、室内環境に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 伝統的建造物保存地区、歴史的修景地区等、様式が定められた地区にあり、基準に適合するよう配慮した。
LR1 エネルギー	太陽光発電を採用することで、エネルギーの削減を図った。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わない等、周辺にもれる光を抑制するよう配慮している。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	
LR2 資源・マテリアル	グリーン購入法のリサイクル材を使用することに努めた。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される